

あかね雲



2016.8.20 NO.151

湧水 ゆうすい

看護協会の「強み」を生かした地域包括ケアの推進

島根県健康福祉部 健康推進課 課長 村下 伯



され、地域の子どもから高齢者、障がい者の支援を行う拠点づくりも進められており、地域包括ケアの対象や活動内容も広がってきています。

また、各団体や市町村、保健所が開催する「多職種連携研修会」には、在宅サービス事業所や開業

医のみならず、医療機関や福祉施設からの参加も多く、連携の広がりと深まりを感じています。

そう考えて、ハッと気づいたことがありました。看護協会の存在です。看護協会は、看護師職能、助産師職能、保健師職能をつなぐと同時に、医療機関、福祉施設、在宅事業所、行政機関と様々な部署に所属する会員をひとつの組織でつないでいます。

まさに、看護協会は、地域包括ケアを担う全ての部署を「包括」している「唯一」の組織です。ぜひ、この強みを生かし、地域包括ケアの牽引役となっていただければと期待しています。



発行／公益社団法人島根県看護協会

発行責任者／春日 順子 編集／広報委員会

平成28年度島根県看護協会通常総会

平成28年度島根県看護協会通常総会を終えて

島根県看護協会会長 春日 順子



平成28年6月4日(土)ピックハート出雲において、標記通常総会を終えることができました。総会に先立ち、熊本地震ご支援に対し感謝の意を伝えました。総会は、出席会員268名(委任状4,314名)により、名誉会員の推薦、平成27年度決算報告(案)、平成28年度役員の選任の3つの議決事項が審議・承認されました。平成28年度重点事業、事業計画など5項目の報告を行い活発な意見交換の場となりました。

今年度は重点的に取組む4つの柱を立てました。1点目は多職種との交流を通して顔の見える関係を作り地域包括ケアシステムの構築を推進する。2点目は看護職の労働環境の整備の推進を図る。3点目は看護職の役割拡大の推進として、県内特定研修終了者の活動報告会など周知促進を図る。4点目は少子高齢社会に対応できる人材育成としました。県民の「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の提供をめざして活動をしていきます。

医療の流れは、病院完結型から地域完結型へと移行しています。看護職がやりがいと誇りをもって働き続けられるよう、透明性のある組織運営に心がけて事業を展開していきます。



特別講演「看護の将来ビジョンと看護協会活動」

講師:日本看護協会常任理事 勝又 浜子氏

講演後の感想 広報委員:吾郷

高齢化社会であることは認識していたものの、実態調査からみられる具体的な数字を見ると、想像している以上に今後的情勢が厳しいことが分かりました。75歳以上人口は都市部では急速に増加し、もともと高齢者の多い地方では緩やかに増加することが予測され、例えば埼玉県では、2010年58.9万人(8.2%)が2025年117.7万人(16.8%)と急速に増加しています。一方同様の比較で、島根県は11.9万人(16.6%)が、13.7万人(22.1%)にと、緩やかに増加します。各地域の高齢化の状況が異なるため、地位の特性に応じた対応が必要になるといわれています。また、WHO/ADI2012の報告書では、世界のどこかで4秒に1人が新しく認知症になっているというデータを示され、今後、認知症高齢者が多く含まれることが推測できました。

2015年にむけて看護は、医療と生活をつなぐ視点から、地域包括ケアシステム構築への参画や、暮らしの場における看護機能の強化が必然とされ、更に質の高い看護が求められていることが分かりました。特定行為研修やクリニカルラダーなどの、教育の充実に向けての取り組みがされていることや質の高い看護を提供することが出来る看護体制づくりが、これから協会活動に求められていることが確認できました。

『健康』に対する価値観も変化し、それに伴って保健・医療・福祉制度が『生活』を重視するものへと転換されています。『どのような健康状態でもその人らしく暮らしていく社会』が求められている今、『いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護』が、看護の将来ビジョンの要であると認識する機会となりました。

各種表彰受賞者 敬称略

平成28年 日本看護協会名誉会員

松浦 昌代



平成28年度 日本看護協会会長表彰

田原 宣子



平成28年度 島根県看護協会会長表彰受賞者（順不同）

吾郷 美晴	天野 和子	飯塚 明子	今若 陽子	井山 ゆり	岩本 理恵
川上 逸子	川上 美里	神田眞理子	久代 玲子	黒川美由紀	郷原 早苗
佐々木美智子	月坂美智代	永田 節子	野津恵美子	浜田 満子	原 正子
矢田 昭子	吉井千栄子	米原 久恵	渡部 純江		

平成28年度新役員紹介よろしくお願ひします



副会長 加茂 尚美

この度、2期目の役を務めさせていただくことになりました。理事になった当初、精神障がい者の地域生活移行・地域定着支援を進めるためには訪問看護の役割は大きく、精神科訪問看護研修の県内開催を提案したところ、早速関係機関と連携し開催いただきました。現場の声に耳を傾け課題解決に向け実践する協会の姿勢を感じました。今後も顔の見える関係づくりを大切に会長の補佐役を微力ですが果たせるよう頑張りたいと思います。ご支援ご協力をお願いいたします。



看護師職能Ⅱ委員長 吉岡 佐知子

2025年を見据え、ここ島根県でも地域包括ケアシステムの構築が急がれ、職能Ⅱ領域（介護・福祉関係施設、在宅等領域）こそ力を発揮する時代です。委員会も3年目となり、これまでの活動を通して見えてきた課題もあります。その対策として、特に看取りケア、施設間のネットワークづくりに今年も委員一同、力を合わせて頑張っていきます。わずかな一歩かもしれません、皆さんと共に歩む委員会を目指します。どうぞよろしくお願い致します。



専務理事 徳若 光代

専務理事に就任しました。日本看護協会の重点政策・重点事業を踏まえ、「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」をめざし、「看護の将来ビジョンの実現のため」微力ながら全力投球で臨みたいと思います。会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



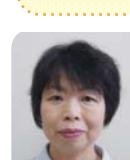
雲南支部理事 藤田 洋美

この度、雲南支部理事という大役を務めさせていただくことになりました。支部活動を通じて雲南地域の看護の連携が図れ、協力し合えるような場が提供できればと思います。そのためにも魅力ある研修会の企画、情報発信を行い支部活動への参加者が増えるような取り組みを行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



常任理事 秦 美恵子

今年度常任理事に就任しました。少子高齢社会の中で、看護職は様々な場で暮らしを支援するために役割を担っています。会員はもとより多くの看護職の皆さんのニーズにあった研修、保健・医療・福祉との連携共同による研修等、皆さんと一緒に進めて参りたいと思います。皆さんのご支援ご参加をお願いします。



大田支部理事 山内 育美

本年度より、大田支部支部長を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、看護協会について理解を深め、島根県看護協会と連携をとりながら、会員数の増加につながるよう努力していきたいと思います。また、大田支部の活動として、高校生への看護PRや一日看護体験に取り組み、看護への興味を持っていただけるような働きかけを強めていきたいと思っています。よろしくお願いします。



助産師職能委員長 菊本 敏美

この度、久々に助産師職能委員として活動を行うことになりました。助産師職能では、昨年「CLoCMIP（助産実践能力習熟段階）」が導入され、県内からも、66名のアドバンス助産師が誕生しました。今後の活躍が大いに期待されます。その他、「予供と予育て世代を対象にした地域包括ケアシステム」の構築や、「分娩取扱施設におけるウイメンズヘルスケの提供」など様々な課題に今後もとりくんでいくことになります。助産師は「女性の一生に寄りそう」専門職です。そのことを忘れず、各々が持っている力を発揮できるよう、他のメンバーと一緒に支援していくたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。



浜田支部理事 大崎 恵子

この度、6月の役員交代で浜田支部理事に就任しました。これまで知らなかった地域の活動、そしてそれに携わる方々との出会いに刺激を受けています。少子高齢化がすすみ、医療・介護・福祉の連携がますます望まれます。看護協会の一員として、地域で暮らす方々の健康増進に貢献できるよう活動を引き継いでまいります。会員の皆さん、どうぞご協力おねがいします。



准看護師職能Ⅰ委員長 園山 珠美

平成28年度の診療報酬改訂でも明らかのように、人々の療養の場が暮らしの場・病院完結型から地域在宅完結型医療へと移行しています。2025年に向け、変容する地域ニーズに応え、少子高齢化に社会に向か、質の高い看護を提供していくためには人材育成は重要であり、看護実践能力の強化を図っていく役割を担う看護職能委員会Ⅰの委員長として皆様とともに活動してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



准看護師理事 坂根 明子

看護の質の向上のため、看護師養成の1本化が不可欠と考えられています。職場でも、仕事や進学に対して前向きに考える必要も感じています。「看護」というやりがいのある仕事を選び、日々働いている准看護師の方々の学びたいという意欲を生かして、准看護師全体がスキルアップ、キャリアアップできるよう自分なりに力を尽くしていきたいと思っています。

理事会報告

第2回理事会 平成28年6月4日(土)15:20~16:00

【協議事項】

1. 代表理事(会長)の選任(案)
2. 代表理事以外の理事選定(案)
3. 平成28年度会長代行及び専務理事代行の優先順位(案)
4. 平成29年度通常総会の開催について
開催日:平成29年6月3日(土)
会場:ピックハート出雲
以上すべて承認

【報告事項】

特記事項なし

第3回理事会 平成28年7月2日(土)10:00~12:00

【協議事項】

1. 島根県看護協会活動方針及び委員会活動計画について
2. 重点4:少子高齢化社会に対する人材育成
3. 委員会担当理事の役割及び運営について
4. 研修会必携について
5. 合同委員会の運営について
6. 平成27年度公益認定財務三基準の計算書および公益目的取得財産残額について
7. 別館のキュービック式高圧受電設備の改修について

【報告事項】

1. 島根県看護協会の動き
2. 平成28年度島根県看護協会事務分掌について

委員会活動

平成28年度合同委員会



専務理事 德若 光代

長等をきめ、各委員会の年間活動計画について情報交換を済ませ、各委員会の連携強化に繋げ、活発な委員会活動をめざします。



看護の日記念のつどいでアピール

平成28年度「看護の日」記念のつどいに初参加、オープニングセレモニーの「看護師ユニホーム紹介」で男性看護師の元気さをアピールしました。また、同時開催のイベント会場では、来場者を対象に男性看護師についてアンケートに協力頂き、男性看護師の活動紹介をすることができ今後の活動に役立てるヒントを得ることができました。

今年度は男性看護師会の研修として、平成28年12月17日(土)、京都大学医学部附属病院の副院長・看護部長の秋山智弥先生を講師にお迎えいたします。秋山先生の講演を受け、男性看護師活動報告やグループワーク等を計画しています。男性看護師の皆様、多数のご参加をお

男性看護師委員会 委員長 福間 勇

待ちしています。研修の詳細については10月以降に再度ご案内をいたします。



平成28年度「看護の日」記念のつどい

平成28年度「看護の日」記念のつどいの取材から

広報委員会

平成28年5月7日にびきメッセで開催された『看護の日』記念のつどいに参加しました。記念式典に先立ち、まちの保健室や訪問看護相談、白衣体験・妊婦体験、男性看護師だんだん(男々)ナース活動紹介などのブースが設けられ、特に体験コーナーでは賑わいをみせていました。記念式典は、各病院のユニフォーム紹介から始まり和やかな雰囲気が会場を包んでいました。看護のこころり

レートークでは「ここに残る看護エピソード」優秀3作品の表彰式に続き作品の朗読が行われ高校生の看護に対する心温まる思いにふれることができました。「看護のよろこび」では「救い・つなぐ・支える」をテーマに2名の看護師から日ごろの活動内容の発表がありました。特別講演は『歯っぴーライフは歯から』のテーマで、歯・口腔ケアで健康長寿を目指すヒントを得ることができました。

イベント会場の
ようす

オープニングセレモニー
看護師のユニフォーム紹介



来賓
受賞者記念撮影



看護師職能担当
「未来の看護師体験」



助産師職能
『妊婦体験 赤ちゃん抱っこ』



リソース会



訪問看護相談



保健師職能まちの保健室

トピックス

DPAT活動について

DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team)は、「DPAT活動マニュアル」により次のように定義づけられています。「自然災害や犯罪事件・航空機・列車事故等の集団災害が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大することが考えられる。精神医療機関の被災状況、それに伴う入院患者の搬送、避難所での診療の必要性等、専門的な知見に基づいて、被災地域の精神保健医療におけるニーズを速やかに把握し、精神保健医療の提供と精神保健活動の支援を継続する必要がある。多様な医療チーム(DMATなど)、保健師等との連携を含めた活動をするため都道府県・政令指定都市によって組織される、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームがDPATである。」

当院は平成27年度から急性期に活動する「DPAT先遣隊」の研修に参加しています。正式な登録は済んでいませんが、今回の熊本地震では、派遣要請があり急遽、医薬品、日常生活

島根県立こころの医療センター 看護局 野尻 聰子

用品、水・食料、安全に関する装備などを準備し、医師1名、看護師2名、業務調整員(事務職員)1名の4名で出発しました。

現地では熊本県立こころの医療センターに設置された活動拠点本部の指示によって活動しました。初日は熊本市の保健師さんとともに2日目以降は島根県の保健師さんと、2班は東京都の保健師さんと活動するしました。複数の避難所を回り、通院歴のある患者さんや認知症の家族がおられる方などの事例に対応しました。余震の恐怖があるため夜間になると避難所で寝泊まりする人や車中泊の被災者が増えるという状況でしたので、感染対策には非常に力を入れておられました。そのため避難所の管理・運営にあたっておられる方のストレス緩和なども対応しました。今回の派遣は2班で4日間の活動で終了しましたが、今後正式に登録されれば、原則5日間の派遣となります。精神看護に従事する者として、有事の際は、被災者の方のこころの健康に対応できる体制を整える必要性を強く感じました。



災害支援ナース登録のお願い

*平成27年度に災害看護研修修了者の皆様で、災害支援ナースの登録をされていない方は、早めに登録手続きをお願いいたします。

9月は健康増進普及月間・ガン征圧月間です。

*看護職の皆様、生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など生活習慣の改善の重要性を認識して、さらに健康づくりの実践に努めましょう。

*がんは無症状のうちに芽生えます。特に胃・子宮・乳房・肺・大腸などは年1回健診を受けて、安心して働きましょう。(島根県健康推進協議会)





認定看護師の紹介

不妊症看護認定看護師として、 様々な家族形成支援の取り組みについて

内田クリニック不妊症看護認定看護師 永島 百合子



私は2004年に不妊症看護認定看護師を取得し、現在は生殖医療専門クリニックに勤務しています。不妊当事者は周囲からの妊娠へのプレッシャーや、心無い言葉に傷つくことも多く、精神的に不安定になる傾向があり、また不妊治療は、特に女性側の通院回数が多く、身体への侵襲もあるため、仕事と治療の両立が難しいなど社会生活への支障も伴います。この様な思いを抱えながら不妊治療をするご夫妻の、良き理解者であり援助者であり続けることを常に心がけています。

不妊症看護認定看護師の主な役割の一つは、生殖にまつわる問題を抱えている個人、および家族に、必要な情報提供や相談を行い、治療について自己決定できるように援助することであり、また妊娠後も不妊心理への対応が必要なケースもあるため、安全・安心な出産及び育児へと繋ぐ役割も担っています。

2003年に誕生した不妊症看護認定看護師は、その後、10数年の間に「様々な家族形成を支援する看護」へと、

役割が拡大してきました。晩婚化により不妊治療を受ける年齢の上昇、そこに付随する生殖ツーリズムの問題（海外での卵子提供など）、社会的認知が得られ始めたLGBT当事者の家族を持ちたいという要望など、倫理的な問題を孕む新たな課題が表出しています。また年齢の若い癌患者の妊娠性の温存や、癌サバイバーへの援助も必要な役割です。

このような多岐にわたる相談に対応できるように、2011年8月当院内に不妊相談室を立ち上げました。心理カウンセラーとも連携し、メールと面接相談を行っています。また不妊治療だけではなく、里親・養親の選択も幅広く情報提供できることを目指し、2014年から、児童相談所や乳児院などの児童福祉機関と生殖・産科医療機関、大学研究者間で検討会を定期的に開催し、継続的な連携を目指しています。

今後も当事者の思いに寄り添い、様々な家族形成支援の取り組みを、関連する援助職と共に続けていきたいと思っています。

「二度目の更新に思うこと」

島根県立中央病院新生児集中ケア認定看護師 遠藤 智弘



10年前、教育課程を修了するとき、担当教官より「明日あなたが居なくなても、変わらない質のケアが続けられる、そんなチームを作りなさい」という言葉をもらいました。二度目の更新にあたり、新生児集中ケア認定看護師としての10年間の活動を振り返ったとき、その言葉の実現に少しでも近づけることができていたのかどうか、自問自答を繰り返しては、苦笑するほかありません。

10年の経験の中で出会った子どもたちは、小さな体でたくさんの大切なことを教えてくれました。その全てが経験という名の財産であり、認定看護師としての自分を作り上げています。しかし、自分が経験を積み成長することは認定看護師にとって当然のことであり、その経験をチーム

に還元し、看護の質の維持向上につなげることが、認定看護師に期待される大きな役割になります。10年を振り返ったとき、これから自分のために必要なことは、経験をチームに還元する方法を学習することだと思いました。そこで、昨年度より島根大学大学院看護学専攻博士前期課程に進学し、看護を知識の視点から再度学習しています。経験を理論で考え、表現することはなかなか難しいですが、自分自身の新たな目標として取り組んでいきたいと思います。そして、次に認定看護師を目指すスタッフが出てくれることも、ケアの質を保ち続けるチームを作り上げるために必要なことだと思っています。

次の更新は2021年です。そのとき、5年間を笑顔で振り返られるよう、目指す認定看護師像の実現に向けて頑張っていこうと思います。

ナースセンターだより

ナースセンター事業とは

ナースバンク事業

再就業支援事業

訪問看護支援事業

看護の心普及事業

ナースバンク事業

ナースセンターは皆様の キャリアサポートの力強い応援団です!

お仕事を探したい看護職の方も
看護職を求めている病院・施設等の方も

お気軽にご相談ください。

月曜日～金曜日(祝日を除く)9:00～17:00

無料です 相談員も看護職です



電話で

メールで

来所で



渡部就業相談員



小森事業局長



栗谷就業相談員

就業を希望される方 移動ナースバンクをご利用ください!

就業相談会(移動ナースバンク)の予定

地域	松江	出雲	雲南	大田	江津	浜田	益田	隠岐
会場	ハローワーク 松江	県立中央病院 ジョブ・ステーション 出雲	ハローワーク 雲南	ハローワーク 石見大田	済生会江津 総合病院	ハローワーク 浜田	ハローワーク 益田	ハローワーク 隠岐の島
時間	14:00～16:00				13:00～16:00			
実施日	8月17日(水)	8月18日(木)	8月 4日(木)	8月10日(水)	8月24日(水)	8月17日(水)	8月10日(水)	8月 4日(木)
	9月21日(水)	9月15日(木)	9月 8日(木)	9月14日(水)	9月28日(水)	9月21日(水)	9月14日(水)	9月14日(水)
	10月19日(水)	10月20日(木)	10月13日(木)	10月12日(水)	10月26日(水)	10月19日(水)	10月12日(水)	10月13日(木)
								10月12日(水)

無料職業紹介 ナースバンクとは??

就職(再就職)を希望している看護職と働く看護職を探している求人施設にeナースセンター(中央ナースセンターによる全国共通のインターネットによる紹介システム)へ登録していただき、看護職の就業相談員が紹介相談を行う事業です。



eナースセンター

— 都道府県看護協会による無料職業紹介事業 —

文字 小 中 大

お問い合わせ

The screenshot shows the e-Nurse Center website interface. It features three main sections: a search function with a magnifying glass icon, a registration section with a person icon, and a login section with a lock icon. Text in the interface includes "利用者登録無しでも、求人検索を体験していただけます。" (No registration required, you can experience job search.), "eナースセンターをご利用いただくには無料の利用者登録が必要です。利用者登録していただくと、さまざまなサポートが受けられます。" (To use the e-Nurse Center, free user registration is required. By registering, you will receive various support services.), and "利用登録済みの方は、こちらからログインしてください。" (If you have already registered, log in from here.). Buttons include "求人検索 (体験版)" (Job Search (Experience Version)), "求職者 (看護職) の方のご登録" (Registration for Job Seekers (Nurses)), "求人施設のご登録" (Registration for Job Facilities), "求人検索 (本格版)" (Job Search (Full Version)), "求職者 (看護職) の方のご登録" (Registration for Job Seekers (Nurses)), "求人施設のご登録" (Registration for Job Facilities), and "ログイン" (Login).

eナースセンター:求人求職登録サイト

<http://www.nurse-center.net/nccs/>

訪問看護支援事業

訪問看護師養成講習会ステップ1進行中です。

平成28年度は受講生13名に加え公開講座にも多くの方が参加されています。7月からは昨年eラーニングを修了された4名も加わり、和気あいあい・パワー全開で学んでいます。

✿ 大西真澄さん ✿

現在勤務しているデイサービスでは利用者様の自宅での様子を、訪問看護師さんからの情報で知る機会が度々あります。そんな中で、利用者様から頼りにされしっかり向き合いながら看護できる訪問看護師を目指すようになりましたが、病院勤務から遠ざかっており、知識技術での不安もあったためこの講習を受講しました。

✿ 小野綾さん ✿

4月より病棟から訪問看護に従事することとなりました。疑問点が多く連携の難しさを感じ、常に不安を抱きながら仕事を行っています。必要な知識、技術を習得し、在宅の場で、利用者・家族様が安心される看護を提供していきたいです。

受講理由

✿ 宮原敬子さん ✿

訪問看護に携わり5年がたちます。この5年間は初めてのことにつき時間を費やし日々のケアに慣れることに重きを置いていました。自分なりに自己学習をしていましたが限界を感じ、また受け持ち利用者の方やチーム間での関わりの中でみえてきた知識不足を自覚しました。自分の精神的な弱さもこの講義を受けることで少しでも自分に自信が持てるようになりたいと思っています。

✿ 三島由賀子さん ✿

この春、30数年勤務した病院を退職しました。現在の専業主婦もいいものでしたが、前から訪問看護に興味はありました。これまで身近な人たちが皆一生懸命生きて命を全うされる姿に触れ、今できることを一人一人することがいい人生なのではないかと思いました。気負うことなくできることをやってみたいので、勉強することにしました。私の今までの経験の振り返りをしたいと思います。

講習の1コマ



頭からつま先まで、全身のフィジカルアセスメントを実演中。

フィジカルアセスメント

フィジカルアセスメントの仕方、手技も実践して見せてもらい大変勉強になりました。すぐにでも実践したいです。



5分間ALSの患者さんの状況を体験中。

対象となる利用者の特性

腰が痛いし、5分がとても長く感じる…

再就業支援事業 看護職再就業チャレンジ講習会を開催いたしました
(大田あすてらす 8/5、9、10)

2年ぶりの西部開催に10名の方が参加され、「医療看護の動向」「看護と倫理的責務」「感染防止と看護の役割」「摂食嚥下障害の基礎知識とケア」「認知症看護の基本」について学びを深められました。

「もう一度頑張ってみようかなという気になれた」「看護職同士が話すことの大切さや楽しさを感じることができた」「これから看護をしていく中で知っておかなくてはならないことが聞けて良かった」等、満足・充実・あっという間の3日間でした。



衛生的手洗いのチェック



認知症高齢者のケアについてグループワーク

ホットひといき

「仮眠とれるで賞」をいただきました。

公立邑智病院看護部長 三浦 瞳

平成25年度から島根県看護協会の支援を受けながら取り組んできたWLB推進事業が終了し、3年間の頑張りに対して、「カンゴザウルス賞」をいただきました。さらに、「仮眠とれるで賞」もいただきびっくり、まさにサプライズでした。WLB推進事業の取り組みの一つとして、それぞれの生活にあった夜勤を選択できるよう多様な勤務体制を取り入れました。同時に新しい仮眠室2部屋を確保し、ベッド、エアコン、テーブル、電気スタンドを備えつけ、仮眠できる環境を整えてきました。今回、仮眠環境の向上に取り組んだ



ことに対し、「仮眠とれるで賞」をいただきました。

先日、記念品の羽毛肌布団2枚をわざわざ当院まで届けて頂きました。早速、院内に披露し、記念品の羽根肌布団は、新しい仮眠室で使用することにしました。お陰様で、軽くて優しい羽根肌布団に包まれ、今夜も快適に仮眠がとれそうです。

お知らせ / INFORMATION

「平成28年熊本地震」に係る義援金のお礼

集まった義援金154万円は、7月14日熊本県看護協会を通して被災地へ届けて頂くよう寄託しました。会員の皆様ありがとうございました。

看護師職能II領域研修(看取り)

日 時:平成28年10月16日(日) 9:30~16:30
講 師:勝部 真美枝氏(緩和ケア認定看護師)
加藤 典子氏(島根県立大学看護学部講師)
吉岡佐知子氏(看護師職能II委員長)
中森 創子氏(納棺師)
会 場:益田医師会病院

災害看護:実務編

日 時:平成28年10月25日(火)・26日(水)
10:00~16:00
講 師:福井大学医学部看護学科
教授 酒井明子先生
会 場:看護研修センター

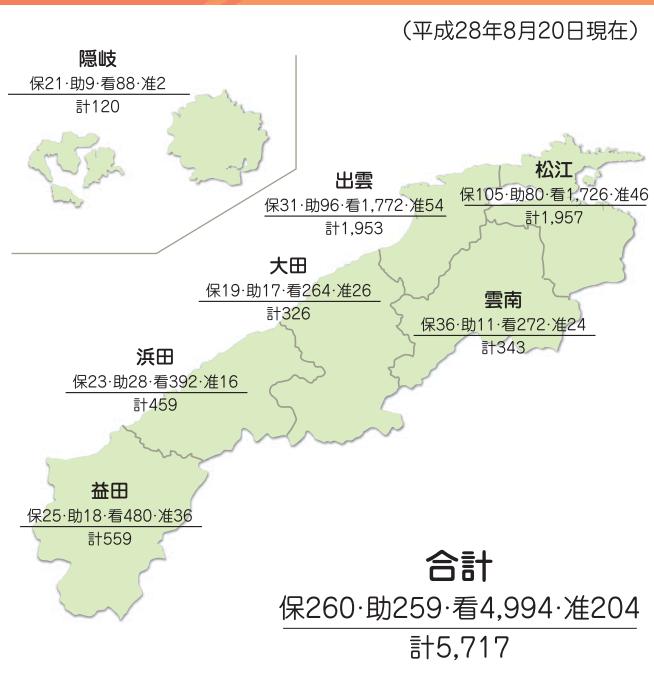
助産師職能研修

日 時:平成28年10月30日(日) 13:30~16:15
講 師:日本看護協会常任理事 福井トシ子先生
会 場:看護研修センター

看護協会・看護連盟合同セミナー (看護管理者・教育指導者対象)

日 時:平成28年10月30日(日) 13:00~16:20
会 場:看護研修センター

支部別・職能別会員数(合計)



編集後記



暑い季節がまたやってきました。山に海にとアウトドアの楽しみも多いと思います。暑さ対策と体調管理をしっかりして、この夏を乗り切りましょう。

公益社団法人島根県看護協会

〒690-0049 松江市袖師町7-11

TEL.0852-25-0330 FAX.0852-25-3157

<http://www.shimane-kango.or.jp> E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp